

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第7期 第2回）		
日時	平成31年4月25日（木） 18:30～20:30	場所	市役所2階庁議室
出席者	委員：12人 事務局：3人（企画部次長、市民協働推進係長、市民協働推進係主任）		

議題	<p>(1) ひと・まちづくり助成事業選考審査 【事業名】：千歳市活性化イベント 【事業名】：波の音会ピアノコンサート イン千歳 【事業名】：「千歳音頭」の周知浸透を図る活動 【事業名】：市民ミュージカル開催事業</p> <p>(2) その他</p>
決定事項	<p>(1)ひと・まちづくり助成事業選考審査 事業名：千歳市活性化イベント 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●幅広い年代を対象とするのであれば、高齢者も対象とした内容（ブース）もあると良い。中心街では、過去に似たような事業をしているため、独自性を感じるイベントに発展させてほしい。安全性の面から、看護師、保育士を雇えると尚良い。</p> <p>事業名：波の音会ピアノコンサート イン千歳 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●観客参加型のため、万が一の事故に備えて、ボランティア保険に加入すること。演奏を他団体へ依頼するため団体の発展が見込みにくいことから、各年度に異なる目玉メニューをつくるなど、助成事業終了後も継続的に運営できるように検討してほしい。イベント周知に関しては、出演者である波の音会の特徴や、2台のピアノの魅力をPRするなど、効果的な集客に努めてほしい。</p> <p>事業名：「千歳音頭」の周知浸透を図る活動 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●他団体や若い世代への広報強化を図るため、デジタル動画等を活用し市民に千歳音頭を見ていただける可能性を広げるなど、費用対効果が高まるようなPRを検討してほしい。踊るだけに留めず、千歳音頭の成り立ちや歴史について市民に訴求する工夫をするとう良い。</p> <p>事業名：市民ミュージカル開催事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●事業主旨や目的をきちんと伝え、市民が参加したいと思う周知の工夫をし、これまで積み上げてきたノウハウや人脈を生かし多くの人に開かれた形で事業実施してほしい。</p>

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

<p>(1) ひと・まちづくり助成事業選考審査 【事業名】：千歳市活性化イベント <質疑応答> ◎イベントの開催時間と過去の集客についてはいかがか。</p>
--

■イベントの開催時間については、11時～16時である。集客については、200名前後である。

◎回数を重ねるごとに、伸びていっているのか。

■一応伸びていっている。

◎これまでのイベントとは異なる点や目標はあるか。

■今までの来場者数が200名なので、500名、1000名と増やしていこうと考えている。

◎会場はタウンプラザを考えているのですね。

■今はそう考えているが、人をさらに集めるためには駐車スペースの都合もあると思うので、少しずつメンバーと相談したり、いろんな方とお話をして場所の提供をしていただけたらと考えている。

◎どちらかあてはあるのか。

■本当は、スポーツセンターを借りられたら良いと思っている。

◎車で移動される方が多いので、駐車場の問題は、タウンプラザだと課題となる。

◎飲食できるスペースはあるのか。

■出展者の中にパンの販売があったり、食べ物の販売もある。自由にくつろげるスペースもある。

◎今年のワークショップは何をするか決まっているのか。

■7月は、ハーバリウム、エコクラフトなどである。

◎出展者15店のうち15店全てが何か手作り体験ができるというわけではないのか。

■主婦の方の手作りのものを販売したり、ワークショップ、合わせて15店舗募集したいと思っている。

◎謝礼のところに、出演者、講師と記載があるが、どのようなジャンルの方か。

■今話しているのは、もともと子どもの専門学校に通っている方でおもちゃのことを学んでいる方がいるので、それに関する話や、子育てのことについてと考えている。

◎子ども食堂の話があったが、食事をするコーナーをつくるということか。

■許可がおりれば、一つの団体がお弁当を作って来てくれるということだったので、それを提供したり、それが叶わなければ、パネルを作成し、子ども食堂の紹介をしようと考えている。

【事業名】：波の音会ピアノコンサート イン千歳

<質疑応答>

◎過去の演奏会ではどれくらい集客ができたのか。

■毎年、波の音会は350名程集客している。

◎具体的なコンサートの規模や時間を教えていただきたい。

■8演目用意している。その内の一つが千歳混声合唱団とのコラボレーションである。1演目15分程度と考えているので、14時開演、休憩をとり、16時半終演と考えている。

◎演奏するのは、ラ・カントウータの方ではなく、波の音会の方なのですか。

■そうである。波の音会の方に演奏していただくことになっている。

◎広報活動はどのように考えているか。

■障がい者の方や後期高齢者の方を無料で招待したいので、障がい者の施設や、高齢者がいるような施設、商業施設等にポスターを掲示したいと考えている。

◎ポスターだけか。

■チラシも配布する。

◎子どもの育成ということであれば、教育委員会のマナビイ等に載せていただいたりすると良いし、ちゃんとや広報ちとせ等もある。紙媒体だけでは集客しづらいので、SNSを利用し、ありとあらゆる広報を考えられたら良いと思う。

◎SNSはやっているか。

■facebookを活用している。

◎年1回定期演奏会をしているということだが、集客状況や開催場所等を教えてほしい。

■北ガスホールの中ホールで、200名～250名の集客である。

◎定期演奏会は、有料で開催していたのか。

■無料である。

◎過去に、有料チケットを販売し開催したことはあるか。

■千歳市では、開催していない。

◎有料チケットは190枚と記載があるが、合計で何枚くらいを想定しているか。

■一人でも多くと考えているが、申請書に記載のチケット枚数190枚は、最低の枚数と思っている。できれば250枚くらいは売りたいと考えている。ただ、あまり多く見積もり採算が合わなくなると困るので最低の枚数で記載している。

◎千歳は潜在的にはピアノを習っている方は多い。

■非常に多い。

◎千歳は演奏会は少ない。できればこういう活動を更に発展させてほしい。

◎イベント開催時に保険をかけることはしないのか。

■今まで演奏会を企画運営してきたが、傷害保険等に加入したことがなく、けがを心配する場面はなかったため、今回は計上しなかった。

◎お子さんや高齢者の方も多くいらっしゃるので、配慮した方がよい。

◎1日のイベントについては一人頭30円程度で保険をかけられる。

【事業名】:「千歳音頭」の周知浸透を図る活動

<質疑応答>

◎スケジュールの中の6～8月というのは実際に踊る期間か。

■そうである。

◎事業の実施期間としては、12月末までであるが8月より後の予定はいかがか。

■昨年だと、自分たちの団体で行事をもつようなどころからお声がかかり出演した。例えば去年は、ふるさとポケットに参加した。他には、役員らの会議も行っている。

◎今回は色んな地域に出向いて踊りの指導を行うようだが、事業の目的を考えると、踊り方の指導と共に、できれば千歳音頭ができた背景やこういう時代に発展していったというようなお話し、ただ踊りを習うのではなく、市民に背景を理解してもらっていくことが理想と思った。

■会場では、マイクを借りるので、そのような話をすると良いですね。去年は、踊りの先生をお呼びしたが、会員が皆踊れるようになったので、今年は踊りのプロは特に講師としては呼ぶ予定はない。

◎千歳音頭は昔からあるのか。

■たしか、昭和25年からある。

◎今日もしお時間があつたら音楽を聞きたかった。千歳のことが歌詞に入っているのですね。

■そうである。昔は学校でも踊った。

◎講習会2回ということだが、どのように呼ぶのか。

■チラシ配布や、民報等掲載で50名程集まる。今年はその方々へお手紙を出して告知する予定である。

◎広告について、ちゃんと等無料の情報誌を活用されるのはいかがか。

■今年は無料枠のところを活用しようと考えている。民報についてもどこに掲載するかは決めた。

◎今youtube等で動画を見ることができるので、去年の盆踊りの動画をアップするのはいかがか。

■写真は多く撮った。インターネットを活用する点は我々の弱いところである。

◎市民納涼盆踊りでは何時間くらい踊ったのか。

■やぐらで子ども盆踊りを行い、千歳音頭を踊り、その後北海盆踊りを行った。ひな壇の前のお祭り広場でも踊った。

◎もう少し若い方も参加できたら良い。ぜひSNS等で広報していただきたい。

【事業名】: 市民ミュージカル開催事業

< 質疑応答 >

◎ 3年間メセナ協会で行ってきた集大成かなと感じた。市民ミュージカルと聞いて一番に思い浮かぶのは、函館の市民劇である。あのように発展していけば良い。申請書上、1年事業となっているが、今お話しを聞いていると先のことも考えられているので、これを踏み台にし進めていってほしい。

■ 脚本は、恵庭市民ミュージカルの任さんという方をお願いしている。将来的には恵庭の市民ミュージカルと協働もしくは合併し、できれば、野外劇にしていけたらと思う。

■ 予算は限られるが、まずは足がかりを作りたい。できれば1年おきに、10倍の予算でやっていきたいというのが本音である。

◎ 千歳に来る前は恵庭に住んでいたため、千歳には市民ミュージカルはないのだなと思った。

■ 協賛企業として山三ふじやさんが全面的に協力してくれることになっている。これから本格的に協力を求めている。

◎ 衣装代は5万円と記載しているが、足りないのではないか。

■ 衣装代というか、舞台費の中に大道具・小道具分が入っており、65万円の中でみていくことになっている。共催負担金についてだが、北海道文化財団との共催ということである。

◎ それは決まっているのか。

■ 内示はいただいている。

◎ 文化センターの大ホールで行うのか。

■ 中ホールで開催する。

◎ 時間はどれくらいか。

■ 2時間以内に収め、2部制で行うということで検討している。

◎ 出演者数はいかがか。

■ 出演者は40名～50名、実行委員が20名程度である。ボランティアを含めると100名程度と考えている。

(2) その他について

次回開催は5月23日(木)を予定。